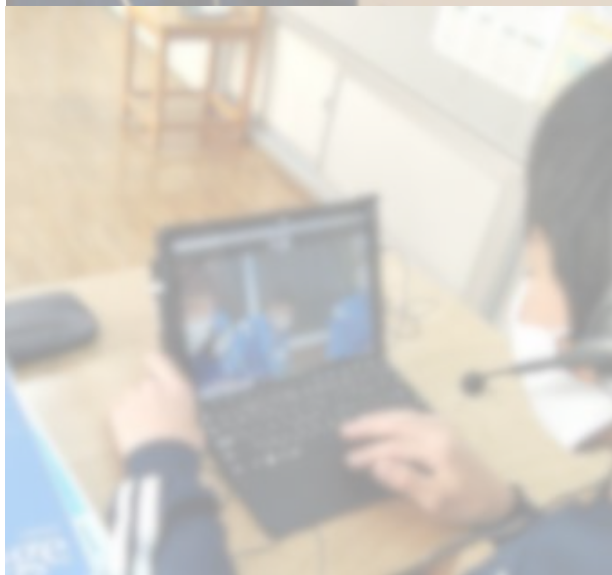


「小規模校ネットワーク」 構築ガイド



Small
School
Network



目次

・はじめに	P.1
・計画の作成	P.2
・探究課題の作成方法	P.3
・朝の交流の内容の作成方法	P.4
・自己評価シートの作成方法	P.5
・ソフトウェア構成図	P.6
・ハードウェア構成図	P.7～9
・実践指導案	P.10～21
・実践探究課題資料	P.22～26
・実践自己評価シート	P.27
・自己評価シート記入例	P.28



小規模校ネットワーク



はじめに

令和3年1月に中央教育審議会から示された「『令和の日本型学校教育』の構築を目指して～全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～」では、変化する社会の中で日本型学校教育は成果を上げている一方、以下の課題に直面しているとあります。生徒の学習意欲の低下、加速度的に進展する情報化への対応の遅れ、少子高齢化、人口減少による学校教育の維持とその質の保障に向けた取組の必要性、などです。

人口減少と高齢化が進む地区の小規模校では、郷土への愛と誇りがありますが、固定化された人間関係や人数規模により、多様な考えに触れる機会が少ないことはないでしょうか。また、教師の目が行き届きやすく、きめ細かな指導ができる強みがある反面、教師の手厚い支援により受け身の姿勢となり、学習意欲が低いということはないでしょうか。

そこで、同じ課題を抱える小規模校同士で、共通の目的の下、1人1台端末を用いて遠隔協働学習を行う「小規模校ネットワーク」を構築し、そのネットワークを効果的に推進する手立てを行うことで、生徒は多様な考えに触れ、学びに向かう力が高まると考え、実践を行いました。

本ガイドブックは、実践で使用した探究課題を掲載しておりますが、あくまで事例であり、各学校の生徒の実態に合わせてアレンジを加え、御活用頂ければと思い作成しました。先生方の教材研究に少しでもお役に立てれば幸いです。



計画の作成



1. 5W1Hを意識し、どのように遠隔協働学習を進めていくのか確認しましょう。

When	いつ(両校の年間計画を確認して)
Where	どこで(学校Aの△△室、学校Bの◇◇室)
Who	だれが(学校Aの〇〇教諭、学校Bの□□教諭)
What	なにを(教科等とその単元)
Why	なぜ(遠隔協働学習を行う目的) 知識及び技能 思考力、判断力、表現力等 学びに向かう力、人間性等
How	どのように(授業の進め方) 朝の交流＋事前個別学習＋遠隔協働学習＋遠隔合同発表

2. 教科等とその単元が決まったら、探究課題と資料を作成しましょう。

3. 探究課題ができたなら、朝の交流で用いる、探究課題に関する内容を作成しましょう。

4. 自己評価シートと自己評価の視点を検討しましょう。

探究課題の作成方法



探究課題は、パフォーマンス課題を作成する場合に用いられている
GRASPS(**G**oal目標、**R**ole 生徒の役割、**A**udience 相手、
Situation 想定されている状況、**P**roduct/**P**erformance 生み
出す作品や行動、**S**tandards and criteria for success 評価
の観点)と略記される六つの要素を取り入れたもので構成しています。
作成する際には、単元の学びを基に、実社会や実生活と関連付けた
GRASPSの要素を取り入れた内容にしましょう。

Role 生徒の役割

Audience 相手

Situation 状況

(中学2年 電流とその性質 探究課題例)

あなたは生活アドバイザーをしています。

今回の依頼は、2世帯(祖母、父親、母親、長女14歳、
長男10歳)のSさん家族の方からの依頼です。「猛暑
が続く夏休み中、消費電力の増加による家計の圧迫が
心配です。どのように電化製品を使えばよいでしょう
か。昨年より5%電気料金が下がれば、家計も助かり
ます。」とのことです。

生活アドバイザーとして、Sさん家族の昨年の電気
料金、家族それぞれの生活スタイルや、使用している
家電製品の消費電力、その他の資料を基に改善策を
提案しましょう。

なお、提案する際には図や表、理科用語を用いて
説明しましょう。

Goal 目標

Product/Performance 生み出す作品や行動

Standards and criteria for success 評価の観点

朝の交流の内容の作成方法



探究課題が作成できたら、探究課題への意欲を高めたり、通常授業への取組をより充実させるための朝の交流の内容を作成しましょう。単元の始めに提示する**簡易探究課題**と、単元の学びの中の**探究課題に関する話題**になります。**簡易探究課題**には、探究課題の方向性を示し抵抗感を下げ、**探究課題に関する話題**には、課題解決を考えたときのヒントの意味合いをもたせます。

探究課題

あなたは生活アドバイザーをしています。
今回の依頼は、2世帯（祖母、父親、母親、長女14歳、長男10歳）のSさん家族の方からの依頼です。「猛暑が続く夏休み中、消費電力の増加による家計の圧迫が心配です。どのように電化製品を使えばよいでしょうか。昨年より5%電気料金が下がれば、家計も助かります。」とのこと。

生活アドバイザーとして、Sさん家族の今年の電気料金、家族それぞれの生活スタイルや、使用している家電製品の消費電力、その他の資料を基に改善策を提案しましょう。

なお、提案する際には図や表、理科用語を用いて説明しましょう。

簡易探究課題

家計が助かる電化製品の使い方はあるのだろうか。

探究課題に関する話題

家にあってよかったなあと思う電化製品ってある？

家計が助かる電化製品ってどんなものが考えられる？

季節によって使う電化製品と、毎日使う電化製品はどんなものがある？その特徴は何だろう？

自己評価シートの作成方法



自己評価の視点を含む自己評価シートを作成してみましょう。生徒の実態に合わせて自己評価の視点や自己評価シートに記述する内容について検討してみてもよいかもしれません。

自己評価の視点と自己評価シートの項目

例1

主体的に学習に取り組む態度の自己評価					
自己評価の視点		S	A	B	C
[遠隔協働学習]		4つの	3つの	2つの	1つの
○「話し合いでは、よりよい考え方を求めて深く考えようとしたか」		視点に	視点に	視点に	視点に
○「複数の考え方が現れたとき、どの考え方が適切かを判断するようにしたか」		について記述した。	について記述した。	について記述した。	について記述した。
○「今回学んだことに対して新たな疑問点を見付けるようにしているか」					
○「授業前と授業後で、自分の考えがどのように変わったかを考えることができたか」					

理由を記述する必要あり

遠隔協働学習 ○回目 での学ぶ態度	自己評価 S~C	理由	その自己評価を付けた理由欄	教師からの助言欄
課題に対する 自分の考え			探究課題に対する自分の考え(解決策)欄	

例2

主体的に学習に取り組む態度の自己評価					
自己評価の視点		S	A	B	C
[遠隔協働学習]		4つの	3つの	2つの	1つの
○「話し合いでは、よりよい考え方を求めて深く考えようとしたか」		視点を	視点を	視点を	視点を
○「複数の考え方が現れたとき、どの考え方が適切かを判断するようにしたか」		意識して取り組めた。	意識して取り組めた。	意識して取り組めた。	意識して取り組めた。
○「今回学んだことに対して新たな疑問点を見付けるようにしているか」					
○「授業前と授業後で、自分の考えがどのように変わったかを考えることができたか」					

理由を記述する必要なし

遠隔協働学習 ○回目 での学ぶ態度	自己評価 S~C	自分の考え	探究課題に対する自分の 考え(解決策)欄	教師からの 助言欄
-------------------------	-------------	-------	-------------------------	--------------

ソフトウェア構成図



ソフトウェアは主にGoogle Workspace for Educationを uses

教師間の連携



Meet



Chat

朝の交流



Meet

紐付け



カレンダー

小規模校ネットワーク ポータルサイト



サイト

紐付け



ドライブ

Zoom

Kahoot!

etc.



スプレッドシート



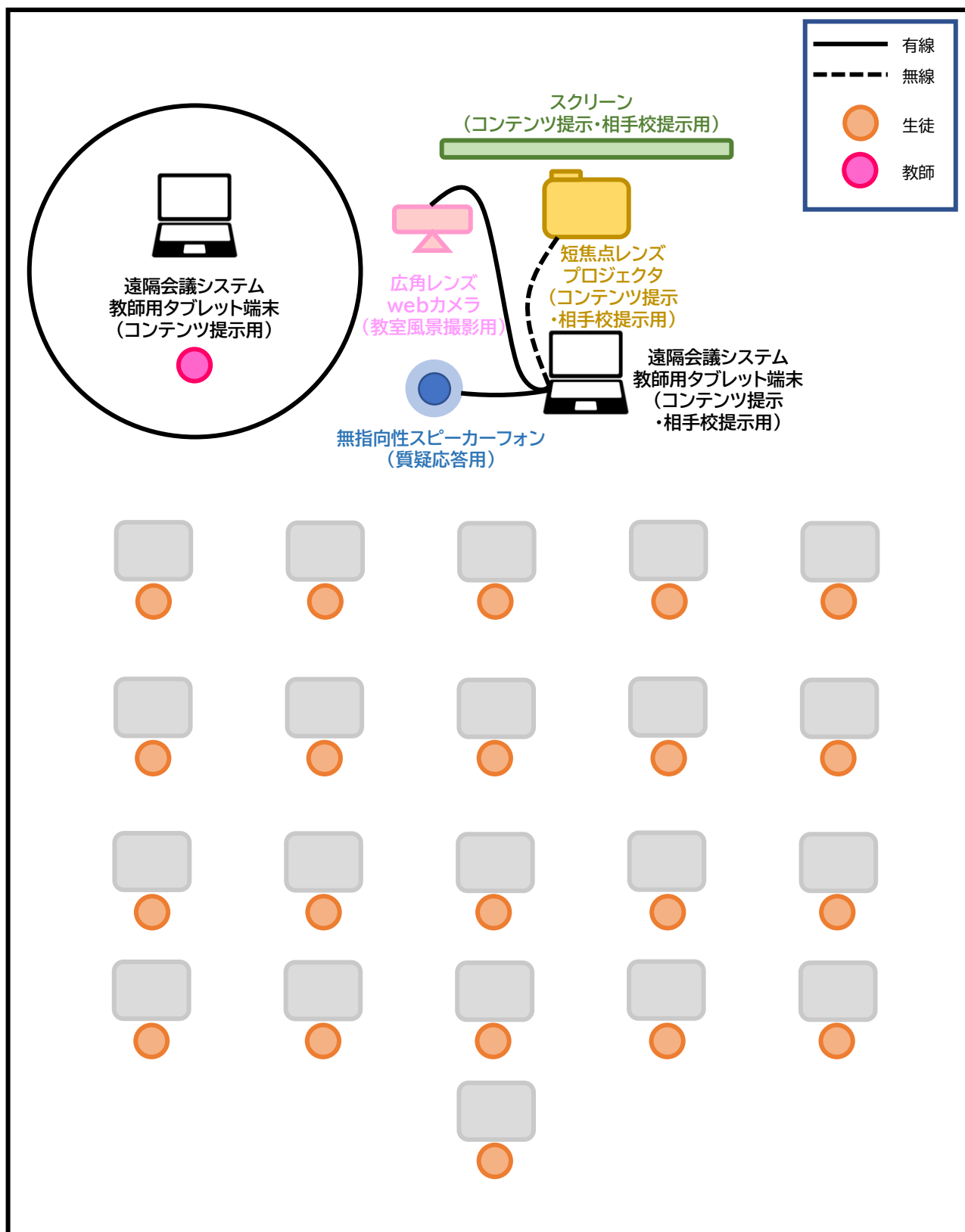
スライド



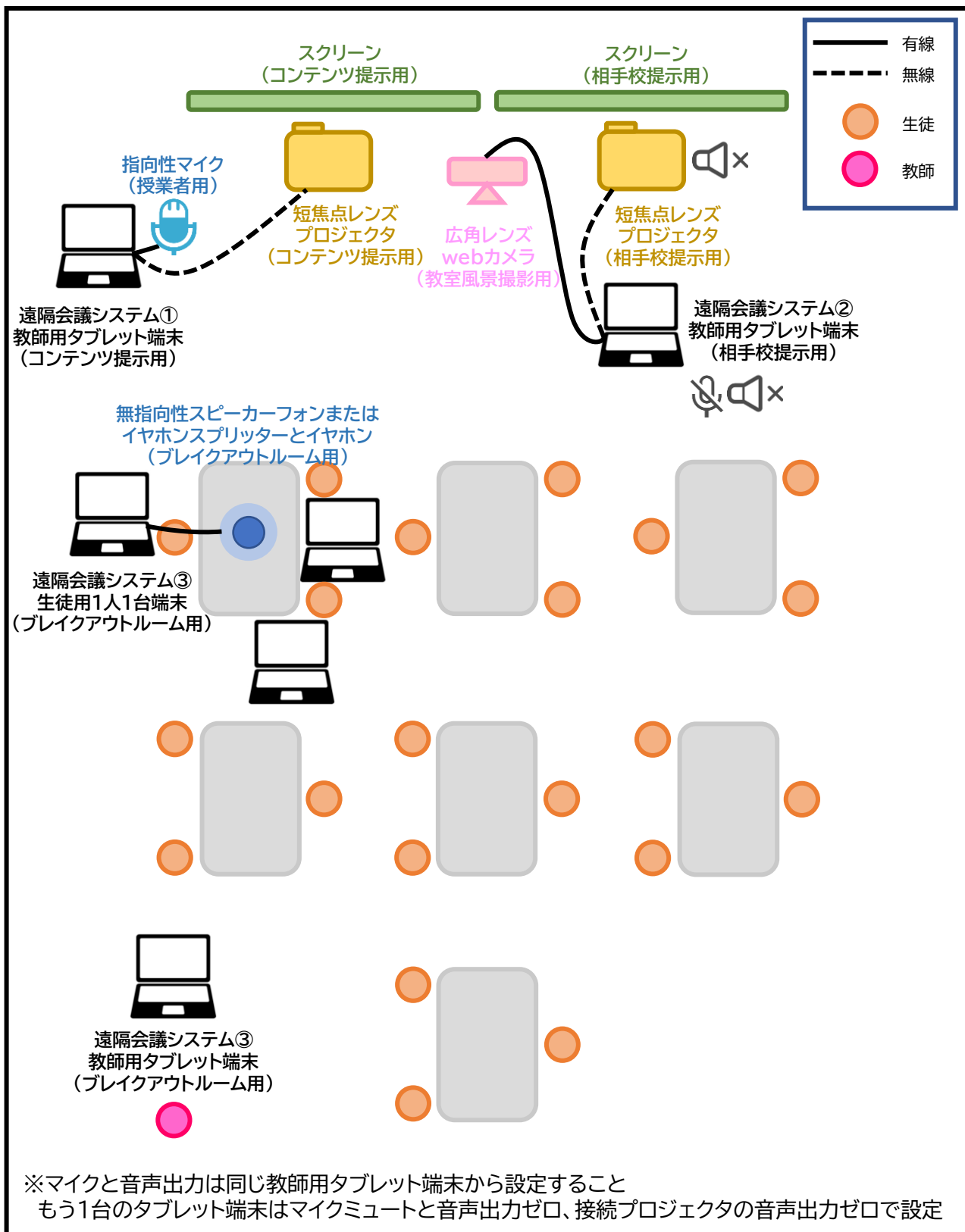
フォーム

etc.

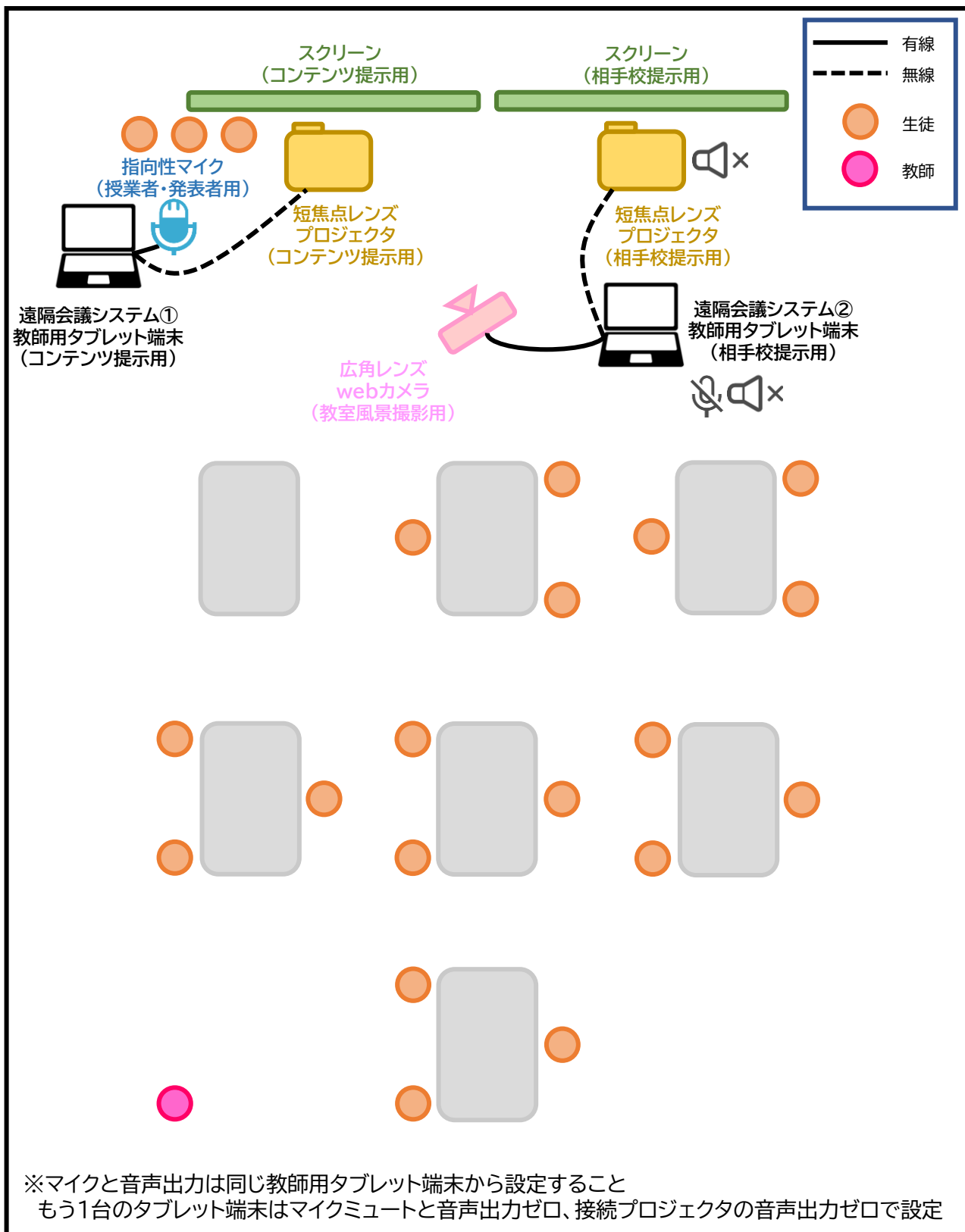
ハードウェア構成図 朝の交流時



ハードウェア構成図 遠隔協働学習時



ハードウェア構成図 遠隔合同発表時



理 科 学 習 指 導 案

令和〇年〇月〇日（〇曜日）第〇校時 2 年（〇〇室） 指導者 〇〇 〇〇

1 単元名 電流とその利用「1 章 電流と回路」

2 単元観

本単元は中学校学習指導要領（平成29年告示）解説 理科編、第1分野（3）電流とその利用の（ア）電流に位置付けられており、回路と電流・電圧、電流・電圧と抵抗、電気とそのエネルギーの3つの小項目で構成されている。小学校では第3学年で「磁石の性質」、「電気の通り道」、第4学年で「電流の働き」、第5学年で「電流がつくる磁力」、第6学年で「電気の利用」など、電流の働きや磁石の性質について初歩的な学習をしている。「電流とその利用」では、理科の見方・考え方を働かせ、電流とその利用についての観察、実験などを行い、電流、電流と磁界について日常生活や社会と関連付けながら理解させるとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けさせ、思考力、判断力、表現力等を育成することを主なねらいとしている。

3 指導方針

- ・ 単元の学びを基に考える探究課題を含む単元の探究活動を設定し、「小規模校ネットワーク」による朝の交流や遠隔協働学習を行う。また、探究課題における自己評価シートを活用する。
- ・ 朝の交流を4～5回設定し、探究課題についての意欲を高めたり、通常授業の取組をより充実させたりするために、簡易探究課題や探究課題に関する話題について交流する。また、人間関係を広げたり仲間意識を高めたりするために、学校紹介、地域紹介、それぞれの学校に対する質問、クイズ大会などを行う。
- ・ 単元の終わりの探究課題解決の場面では、混合班を作成し、遠隔協働学習を行う。
- ・ 自己評価の視点を事前に提示し、授業時間外の事前個別学習、2時間の遠隔協働学習、1時間の遠隔合同発表の各時間後に自己評価シートで取組を振り返る。自己評価シートの教師からの助言欄に適宜助言をして、生徒にフィードバックする。次の授業の導入で自己評価とその理由を生徒に紹介し、自己評価シートを価値付ける。
- ・ 「小規模校ネットワーク」のポータルサイトを作成、各種コンテンツを掲載し、見通しをもって探究活動に取り組めるようにする。

4 研究との関わり

令和3年1月に中央教育審議会から示された「『令和の日本型学校教育』の構築を目指して～全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～（答申）（中教審第228号）」では、変化する社会の中で日本型学校教育は成果を上げている一方、以下の課題に直面しているとある。生徒の学習意欲の低下、学習場面におけるデジタルデバイスの使用が低調であること、加速度的に進展する情報化への対応の遅れ、少子高齢化、人口減少による学校教育の維持とその質の保証に向けた取組の必要性、などである。中山間地域の小規模校である協力校でも、地域の少子高齢化、人口減少、生徒の学習意欲の低下といった課題がある。これらの課題を解決していくためには、GIGAスクール構想で実現した1人1台端末の活用が必要不可欠である。また、群馬県においては、令和3年3月に策定された「第2期群馬県教育大綱」の施策のうちの「2 ICTの活用による教育イノベーションの推進～子どもたちの可能性を高める個別最適な学びと協働的な学びを実現する～」や「4 確かな学力の育成～学力の確実な定着を図り、学びに向かう力・社会に参画する力を育成する～」において、1人1台端末をツールとして確かな学力の育成が求められている。

そこで、同じ課題を抱える小規模校同士で、共通の目的の下、1人1台端末を用いて遠隔協働学習を行

う「小規模校ネットワーク」を構築し、そのネットワークを効果的に推進する手立てを行うことで、生徒は多様な考えに触れ、学びに向かう力を高めると考えた。手立てとしては、中学校理科における単元の学びを基に考える探究課題を含む単元の探究活動を設定し、「小規模校ネットワーク」による朝の交流や遠隔協働学習を行い、課題解決の方法を考えることである。多様な考えに触れ、主体的に学習に取り組む姿につながり、生徒の学びに向かう力を高めると考えた。また、自己評価シートを活用し、探究課題に取り組む際の事前個別学習や遠隔協働学習の時間において、自己評価の視点を基に自己評価し、自分の取組を振り返ることは、主体的に学習に取り組む姿につながり、生徒の学びに向かう力を高めると考えた。

このように、生徒が多様な考えに触れ、学びに向かう力を高めることができるように、「小規模校ネットワーク」をより効果的に推進するための、中学校理科における単元の探究活動を手立てとし、その有効性を検証していきたい。また、遠隔協働学習で用いる自己評価シートを活用することで、その有効性も検証していきたいと考える。

5 単元的目標

(1) 知識及び技能

エネルギーに関する事物・現象についての観察、実験などを行い、電流とその利用について理解するとともに、科学技術の発展と人間生活との関わりについて認識を深めるようにする。また、それらを科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。

(2) 思考力、判断力、表現力等

エネルギーに関する事物・現象に関わり、それらの中に問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し表現するなど、科学的に探究する活動を通して、規則性を見いだしたり課題を解決したりする力を養う。

(3) 学びに向かう力、人間性等

エネルギーに関する事物・現象に進んで関わり、科学的に探究する態度を養うとともに、自然を総合的に見るができるようにする。

6 単元の評価規準

(1) 知識・技能

電流に関する事物・現象を日常生活や社会と関連付けながら、回路と電流・電圧、電流・電圧と抵抗、電気とそのエネルギーについての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。

(2) 思考・判断・表現

電流に関する現象について、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、電流と電圧、電流の働きの規則性や関係性を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。

(3) 主体的に学習に取り組む態度

電流とその利用に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

7 指導と評価の計画（全17時間）

過程	時間	●ねらい ○学習活動〔☆〕：ICT活用	◇評価項目＜方法（観点）＞ 〔記〕：記録に残す評価 ※研究上の留意点
ふれる・つかむ	朝の交流1	<p>●単元末の探究課題について、簡易版を提示することで抵抗感を下げ、学習の見通しをもたせる。</p> <p>○簡易探究課題を知り、それについて予想をし、共有をする。</p> <p>○それぞれの学校や地域について質疑応答し交流する。</p> <p>〔☆〕Zoom又はGoogle Meet、 Google フォーム、 Google サイト</p>	<p>※遠隔会議システムの接続テストと流れを事前に学校間で確認しておく。</p> <p>※TT教員は接続不良等に適宜対応する。</p> <p>※朝の交流の内容をポータルサイトに提示しておく。</p>
		<div>簡易探究課題 家計が助かる電化製品の使い方はあるのだろうか。</div>	
	第1時～第4時	<p>●直列回路や並列回路をつくり、回路に流れる電流を測定する実験を行うことを通して、回路の各点を流れる電流についての規則性を見いだして理解できるようにする。</p> <p>○豆電球やモーターの前後を流れる電流の大きさを調べる。</p> <p>○回路の各点を流れる電流の大きさを調べる。</p>	<p>◇示された回路を流れる電流を求めたり、電流を測定し、回路図をかいたりしている。</p> <p>＜行動観察・記述分析（知）＞</p> <p>◇直列回路や並列回路の電流の規則性を見いだして表現している。</p> <p>＜記述分析（思）＞</p> <p>◇回路の各点を流れる電流について、設定した課題に沿って実験を立案して行い、課題を解決しようとしている。</p> <p>＜行動観察・記述分析（態）＞</p>
追究する	第7時までの間	<p>●探究課題に関する話題について意見交流することを通して、課題意識や仲間意識を高められるようにする。</p> <p>○探究課題に関する話題について交流する。</p> <p>○それぞれの学校や地域について質疑応答し交流する。</p> <p>〔☆〕Zoom又はGoogle Meet Google サイト</p>	<p>※遠隔会議システムの接続テストと流れを事前に学校間で確認しておく。</p> <p>※TT教員は接続不良等に適宜対応する。</p> <p>※朝の交流の内容をポータルサイトに提示しておく。</p>
	朝の交流2	<div>探究課題に関する話題1 家にあってよかったなあと思う電化製品ってある？</div>	
	第5時～第7時	<p>●直列回路や並列回路をつくり、回路に加わる電圧を測定する実験を行うことを通して、回路の各部に加わる電圧についての規則性を見いだして理解できるようにする。</p> <p>○回路の各部分に加わる電圧の大きさを調べる。</p>	<p>◇示された回路に加わる電圧を求めたり、回路をつくり各部に加わる電圧を測定したりしている。＜行動観察・記述分析（知）＞</p> <p>◇直列回路や並列回路の各部に加わる電圧の規則性を見いだして表現している。</p> <p>＜記述分析（思）＞</p> <p>◇回路の各部に加わる電圧について、設定した課題に沿って実験を行い、調べようとしている。＜行動観察・記述分析（態）＞</p>

まとめる	第11時までの間 朝の交流3	<p>●探究課題に関する話題について意見交流することを通して、課題意識や仲間意識を高められるようにする。</p> <p>○探究課題に関する話題について交流する。</p> <p>○それぞれの学校や地域について質疑応答し交流する。</p> <p>[☆] Zoom又はGoogle Meet Google サイト</p>	<p>※遠隔会議システムの接続テストと流れを事前に学校間で確認しておく。</p> <p>※T T教員は接続不良等に適宜対応する。</p> <p>※事前に班の数と男女数を決めておき、それぞれの学校で班編制をしておく。</p> <p>※朝の交流の内容をポータルサイトに提示しておく。</p>
		<div>探究課題に関する話題2</div> <p>家計が助かる電化製品ってどんなものが考えられる？</p>	
	第8時～第11時	<p>●電熱線に加わる電圧と電流を測定する実験を行うことを通して、電圧と電流の関係性を見いだして理解できるようにするとともに、電熱線には電気抵抗があることを理解できるようにする。また、物質の種類によって抵抗の値が異なることや、二つの抵抗をつないだ場合の合成抵抗について知ることができるようにする。</p> <p>○電熱線に加える電圧を変えたときの電流の大きさを調べる。</p>	<p>◇示された回路の電流や電圧、抵抗を計算して求めたり、電圧と電流の関係を直線のグラフで表したりしている。</p> <p><行動観察・記述分析（知）></p> <p>◇電圧と電流の関係や電熱線の種類による電流の流れにくさの違いを見いだして表現している。</p> <p><記述分析（思）></p> <p>◇回路の電流と電圧の関係について、設定した課題に沿って実験を行い、課題を解決しようとしている。</p> <p><行動観察・記述分析（態）></p>
	第14時までの間 朝の交流4	<p>●探究課題に関する話題について意見交流することを通して、課題意識や仲間意識を高められるようにする。</p> <p>○探究課題に関する話題について交流する。</p> <p>○ライブクイズ大会を行い交流する。</p> <p>[☆] Zoom又はGoogle Meet Google サイト、Kahoot!</p>	<p>※遠隔会議システムの接続テストと流れを事前に学校間で確認しておく。</p> <p>※T T教員は接続不良等に適宜対応する。</p> <p>※朝の交流の内容や班編制をポータルサイトに提示しておく。</p>
	第12時～第14時	<p>●電流によって熱や光などを発生させる実験を行うことを通して、熱や光などが取り出せること及び電力の違いによって発生する熱や光などの量に違いがあることを見いだして理解できるようにする。また、電力量や熱量について知ることができるようにする。</p> <p>○電力の大きさと水の温度変化の関係を調べる。</p> <p>○電気器具の電力量や消費電力について考えてみる。</p>	<p>◇電力や熱量、電力量を計算して求めたり、電力と水の上昇温度を測定し、上昇温度と時間や電力の関係をグラフで表したりしている。</p> <p><行動観察・記述分析（知）></p> <p>◇熱量が電力と時間に関係していることを見いだして表現している。</p> <p><記述分析（思）></p> <p>◇電流とそのエネルギーについて、設定した課題に沿って実験を行い、調べようとしている。</p> <p><行動観察・記述分析（態）></p>

探究する	朝の交流5	<p>●探究課題と学習の進め方、自己評価の視点の見方、自己評価シートの書き方などを知ることができるようにする。</p> <p>○探究課題と学習の進め方、「主体的に学習に取り組む態度」に関する自己評価の視点、自己評価シートの使い方など、疑問に思ったことを質問する。</p> <p>〔☆〕Zoom又はGoogle Meet、 Google サイト</p> <p>○自己評価シート、探究課題資料を確認する。併せて紙版の自己評価シートの書き方と探究課題資料を確認する。</p> <p>〔☆〕Google スプレッドシート</p>	<p>※遠隔会議システムの接続テストと流れを事前に学校間で確認しておく。</p> <p>※Google ドライブ上のフォルダ構成と自己評価シート、探究課題資料を事前に学校間で確認し、ポータルサイトに紐付けておく。</p> <p>※探究課題提示を遠隔合同発表の一週間前に設定したり、週末を挟んだりすることで課題に個別で取り組む時間を確保する。</p> <p>※T T教員は自校の困っている生徒や、接続不良等に適宜対応する。</p>
		<p>探究課題 あなたは生活アドバイザーをしています。今回の依頼は、2世帯（祖母、父親、母親、長女 14 歳、長男 10 歳）のSさん家族の方からの依頼です。</p> <p>「猛暑が続く夏休み中、消費電力の増加による家計の圧迫が心配です。どのように電化製品を使えばよいのでしょうか。昨年より5%電気料金が下がれば、家計も助かります。」とのこと。生活アドバイザーとして、Sさん家族の昨年の電気料金、家族それぞれの生活スタイルや、使用している家電製品の消費電力、その他の資料を基に改善策を提案しましょう。なお、提案する際には図や表、理科用語を用いて説明しましょう。</p>	
	第15時まで間	<p>●【事前個別学習】探究課題について、資料を基に考え、本やインターネットで補うことを通して、事前に自分の考えをもてるようにする。</p> <p>○自分で探究課題について考えたり、本やインターネットを活用して調べたりしてみる。</p> <p>○事前個別学習を振り返る。</p> <p>〔☆〕Google サイト、 Google スプレッドシート</p>	<p>◇課題について、考えたり調べたりして自分の考えをもっている。</p> <p>＜記述分析（思）〔記〕＞</p> <p>◇自己評価の視点を基に、自分の学習についての取組を振り返っている。</p> <p>＜記述分析（態）〔記〕＞</p>
	第15時	<p>●【遠隔協働学習1】事前学習の考えを基に遠隔協働学習に取り組むことを通して、探究課題解決への見通しをもたせる。</p> <p>○探究課題について班で互いの考えを発表し、班の方向性を決める。</p> <p>○遠隔協働学習1を振り返る。</p> <p>〔☆〕Zoom、Google Meet×2、 Google サイト、 Google スライド、 Google スプレッドシート</p>	<p>◇班活動を通して、自分の考えを再考したり、表現し直したりしている。</p> <p>＜行動観察・記述分析（思）〔記〕＞</p> <p>◇班活動に進んで取り組んだり、自己評価の視点を基に、自分の学習についての取組を振り返ったりしている。</p> <p>＜行動観察・記述分析（態）〔記〕＞</p> <p>※T T教員は自校の困っている生徒や、接続不良等に適宜対応する。</p> <p>※T T教員と共に生徒への助言をする。</p>

第16時	<p>●【遠隔協働学習2】前時までの学びを基に遠隔協働学習に取り組むことを通して、探究課題解決への見通しをもたせる。</p> <p>○探究課題について班で考えを一つにまとめ、発表に向けて資料作成等の準備をする。</p> <p>○遠隔協働学習2を振り返る。</p> <p>〔☆〕Zoom、Google Meet×2、Google サイト、Google スライド、Google スプレッドシート</p>	<p>◇班活動を通して、自分の考えを再考したり、表現し直したりしている。</p> <p>＜行動観察・記述分析（思）〔記〕＞</p> <p>◇班活動に進んで取り組んだり、自己評価の視点を基に、自分の学習についての取組を振り返ったりしている。</p> <p>＜行動観察・記述分析（態）〔記〕＞</p> <p>※TT教員は自校の困っている生徒や、接続不良等に適宜対応する。</p> <p>※TT教員と共に生徒への助言をする。</p>
第17時	<p>●【遠隔合同発表】前時までの学びを基に遠隔合同発表に臨み、発表したり他の班の発表を聴き質問したりすることを通して、探究課題について振り返ることができるようにする。</p> <p>○探究課題についての改善策を遠隔合同発表する。</p> <p>○遠隔合同発表を振り返る。</p> <p>○探究活動全体を振り返る。</p> <p>〔☆〕Google Meet、Google サイト、Google スライド、Google スプレッドシート、Google フォーム</p>	<p>◇班活動を通して、自分の考えを再考したり、表現し直したりしている。</p> <p>＜行動観察・記述分析（思）〔記〕＞</p> <p>◇遠隔合同発表に進んで取り組んだり、自己評価の視点を基に、自分の学習についての取組を振り返ったりしている。</p> <p>＜行動観察・記述分析（態）〔記〕＞</p> <p>※TT教員は自校の困っている生徒や、接続不良等に適宜対応する。</p>

8 第15時の展開【遠隔協働学習1】

(1) ねらい

事前学習の考えを基に遠隔協働学習に取り組むことを通して、探究課題解決への見通しをもたせる。

(2) 準備

教師：プロジェクトとスクリーン又は電子黒板、教師用タブレット端末 2組、

教師用タブレット端末（ブレイクアウトルーム用）、無指向性スピーカーフォン（班の数分）、指向性マイク、広角レンズWebカメラ、三脚

生徒：教科書、ノート、1人1台端末、ワークシート

(3) 展開

時間	<p>○学習活動</p> <p>・予想される生徒の反応</p> <p>〔☆〕：ICT活用</p>	<p>◎研究上の手立て</p> <p>○指導上の留意点</p> <p>●努力を要する生徒への支援</p> <p>◇評価項目＜方法（観点）＞〔記〕：記録に残す評価</p>
授業前	<p>0 事前の準備</p> <p>〔☆〕Google Meet、Google サイト</p>	<p>◎遠隔会議システムを準備する。教師用タブレット端末を用い、コンテンツ掲示用と相手校提示用にそれぞれGoogle Meetを起動し、接続確認をしておく。</p> <p>◎全体への指示は、コンテンツ提示用の遠隔会議システムにポータルサイトの該当箇所を映して行う。</p>

導入 7分	<p>1 前時の振り返り</p> <p>○各校の自己評価シートから取り上げられた、よい記述を共有する。 [☆] Google スプレッドシート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クラスの中には、こんなに調べて今日臨んでいる人がいてすごいな。 ・相手校の子も頑張っているのだな。 <p>○遠隔協働学習における「主体的に学習に取り組む態度」の自己評価の視点を再確認することで、学習をどのように進めていけばよいか見通しをもつ。</p> <p>○発表用スライドの場所を知る。 [☆] Google サイト</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今日は評価の視点を意識して、A評価を目指して頑張ろう。 	<p>○各校の自己評価シートの記述を取り上げ、事前学習での学ぶ態度のよかった部分を全体で共有し、本時の学習意欲が高まるようにする。</p> <p>○自分の班のメンバーの考えのよさに気付くこと、最後は自分の考えや取組について振り返ることが大切だということを押さえる。</p> <p>○より上位の自己評価に向けて学習に取り組めるように自己評価の視点を意識させ、活動の見通しがもてるようにする。</p> <p>○班のメンバーのみ編集可能な発表用スライドを、ポータルサイトに用意してあることを伝える。</p> <p>◎●TT教員は自校の困っている生徒や、接続不良等に適宜対応する。</p>
展開 30分	<p>2 遠隔協働学習（班別協議）</p> <p>○班の代表者一名が、Zoomをクライアントで起動、合同班のブレイクアウトルームに移動して、遠隔協働学習をできるようにする。 [☆] Zoom</p> <p>○自分が考えてきた改善策について、手元の紙資料やデジタル資料を共有しながら班の中で発表し、出てきた質問に答えたり、一緒に考えたりする。</p> <p>○班として、どの視点に着目した発表内容にするか話し合う。</p> <p>○協議の終わった班から、話し合いを基に発表用スライドを作成する。 [☆] Google スライド</p>	<p>◎教師用タブレット端末（ブレイクアウトルーム用）を用い、Zoomをホストで起動する。Zoomのブレイクアウトルームと無指向性スピーカーフォンを組み合わせることにより、遠隔協働学習を実現させる。</p> <p>●コンテンツ提示用の画面に、ポータルサイトの班別協議の進め方の部分を映しておく。</p> <p>◎●ブレイクアウトルーム間を移動し、自己評価シートの記述と、学習に取り組む姿勢を見ながら、課題の条件を満たしているか、より上位の自己評価となるような助言をする。</p> <p>●TT教員と分担しながら、ブレイクアウトルーム間を移動し、改善策やその根拠となる部分について話を聞き、考えがまとまるように助言をする。</p> <p>○発表用スライドは、課題の条件を満たしているのか、資料は他の人が見たときに分かりやすいのか、改善策のメリットとデメリットについて考えられているのか、について伝える。</p> <p>◇探究課題について、電力量と電気料金について関係性を踏まえて改善策を表現している。 ＜行動観察（思）＞</p> <p>◇遠隔協働学習を通して、考えを再考したり、振り返ったりしている。 ＜行動観察（態）＞</p>
まとめ 5分	<p>3 まとめ</p> <p>○ブレイクアウトルームから退出する。</p> <p>○本時の活動から、各班の取組のよかった部分について聞き、次時の参考にする。</p>	<p>◎班活動を終了するために、Zoomのブレイクアウトルームから退出させ、Zoomも終了する。</p> <p>○各班の取組から、探究課題の条件を満たしている点、着眼点のよい点、見やすい資料の作り方について共有した方がよいものを取り上げ、伝える。</p>

振り返り 8分	<p>4 振り返り①</p> <p>○遠隔協働学習について自分の取組を、自己評価の視点を基に自己評価する。</p> <p>〔☆〕Google スプレッドシート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・もっと事前学習に力を入れておけばよかったな。 ・新しく気付いたことがあったな。今日の自己評価はAかな。 <p>○授業後、自己評価シートに教師からの助言を受け、次時の活動について考えていくことを知る。</p>	<p>◎自己評価シートに自己評価の視点を基に入力させる。</p> <p>●「主体的に学習に取り組む態度」の自己評価の視点を参考に入力することを伝える。その際、理由の欄には、四つの視点について入力することを確認する。</p> <p>◇探究課題について、電力量と電気料金について関係性を踏まえて改善策を表現している。</p> <p>＜自己評価シート記述分析（思）〔記〕＞</p> <p>◇遠隔協働学習を通して、考えを再考したり、振り返ったりしている。</p> <p>＜自己評価シート記述分析（態）〔記〕＞</p> <p>◎授業終了後に、自己評価シートに教師からのフィードバックを入れるので、次時の学習に生かしてほしいことを伝える。</p> <p>◎遠隔会議システムを終了する。</p>
授業後	<p>5 振り返り②</p> <p>○自己評価について、教師からフィードバックを受け、次時の活動について考える。</p> <p>〔☆〕Google スプレッドシート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次の時間は、先生からのアドバイスを生かしてみよう。 <p>○次時の交流に向けて、再考したり用意した資料の修正をしたりする。</p> <p>〔☆〕Google スライド</p>	<p>◎自己評価シートの教師助言欄に、取組のよかった点や、改善すべき点、より上位の評価に向けて助言し、生徒が気付かなかった部分について考えることができるようにする。</p> <p>●自己評価シートの教師助言欄に記述した内容について詳しく伝えたり、疑問点を解消したりする。</p>

9 第16時の展開【遠隔協働学習2】

(1) ねらい

前時までの学びを基に遠隔協働学習に取り組むことを通して、探究課題解決への見通しをもたせる。

(2) 準備

教師：プロジェクタとスクリーン又は電子黒板、教師用タブレット端末 2組、

教師用タブレット端末（ブレイクアウトルーム用）、無指向性スピーカーフォン（班の数分）、指向性マイク、広角レンズWebカメラ、三脚

生徒：教科書、ノート、1人1台端末、ワークシート

(3) 展開

時間	<p>○学習活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・予想される生徒の反応 <p>〔☆〕：ICT活用</p>	<p>◎研究上の手立て</p> <p>○指導上の留意点</p> <p>●努力を要する生徒への支援</p> <p>◇評価項目＜方法（観点）＞〔記〕：記録に残す評価</p>
----	---	--

授 業 前	<p>0 事前の準備</p> <p>[☆] Google Meet、 Google サイト</p>	<p>◎遠隔会議システムを準備する。教師用タブレット端末を用い、コンテンツ提示用と相手校提示用にそれぞれGoogle Meetを起動し、接続確認をしておく。</p> <p>◎全体への指示は、コンテンツ提示用の遠隔会議システムにポータルサイトの該当箇所を映して行う。</p>
導 入 5 分	<p>1 前時の振り返り</p> <p>○各校の自己評価シートから取り上げられた、よい記述を共有する。</p> <p>[☆] Google スプレッドシート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前回の取組で、私と同じような気付きをしている人がいて面白いな。 ・自分も頑張ろう。 <p>○遠隔協働学習における「主体的に学習に取り組む態度」の自己評価の視点を再確認することで、学習をどのように進めていけばよいか見通しをもつ。</p> <p>[☆] Google サイト</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今日は評価の視点を意識して、S評価を目指して頑張ろう。 	<p>◎各校の自己評価シートの記述を取り上げ、前時の学ぶ態度のよかった部分を全体で共有し、本時の学習意欲が高まるようにする。</p> <p>○自分の班のメンバーの考えのよさに気付くこと、最後は自分の考えや取組について振り返ることが大切だということを押さえる。</p> <p>◎より上位の自己評価に向けて学習に取り組めるように自己評価の視点を意識させ、活動の見通しがもてるようにする。</p> <p>◎●TT教員は自校の困っている生徒や、接続不良等に適宜対応する。</p>
展 開 32 分	<p>2 遠隔協働学習（発表準備）</p> <p>○班の代表者一名が、Zoomをクライアントで起動、合同班のブレイクアウトルームに移動して、遠隔協働学習をできるようにする。</p> <p>[☆] Zoom</p> <p>○前時の続きで、班の話し合いを基に、分かりやすい発表用スライドを作成し、発表順を決める。</p> <p>[☆] Google スライド</p>	<p>◎教師用タブレット端末（ブレイクアウトルーム用）を用い、Zoomをホストで起動する。Zoomのブレイクアウトルームと無指向性スピーカーフォンを組み合わせることにより、遠隔協働学習を実現させる。</p> <p>●コンテンツ提示用の画面に、ポータルサイトのスライド作成要項の部分を映しておく。</p> <p>◎●ブレイクアウトルーム間を移動し、自己評価シートの記述と、学習に取り組む姿勢を見ながら、課題の条件を満たしているか、より上位の自己評価となるような助言をする。</p> <p>●TT教員と分担しながら、ブレイクアウトルーム間を移動し、発表用スライド作成について、悩んだり困ったりしていることを整理し、助言をする。</p> <p>○発表用スライドは、課題の条件を満たしているのか、資料は他の人が見たときに分かりやすいのか、改善策のメリットとデメリットについて考えられているのか、について伝える。</p> <p>◇探究課題について、電力量と電気料金について関係性を踏まえて改善策を表現している。</p> <p>＜行動観察（思）＞</p> <p>◇遠隔協働学習を通して、考えを再考したり、振り返ったりしている。</p> <p>＜行動観察（態）＞</p>

まとめ 5分	<p>3 まとめ</p> <p>○ブレイクアウトルームから退出する。</p> <p>○本時の活動から、各班の取組のよかった部分について聞き、次時の参考にする。</p>	<p>◎班活動を終了するために、Zoomのブレイクアウトルームから退出させ、Zoomも終了する。</p> <p>○各班の取組から、発表の工夫、見やすい資料の作り方について共有した方がよいものを取り上げ、伝える。</p>
振り返り 8分	<p>4 振り返り①</p> <p>○遠隔協働学習について自分の取組を、自己評価の視点を基に自己評価する。</p> <p>〔☆〕Google スプレッドシート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電力量から電気料金の求め方が分かったな。 ・話し合いの中で、自分の考えが変わったな。今日の自己評価はSかな。 <p>○授業後、自己評価シートに教師からの助言を受け、次時の活動について考えていくことを知る。</p>	<p>◎自己評価シートに自己評価の視点を基に入力させる。</p> <p>●「主体的に学習に取り組む態度」の自己評価の視点を参考に入力することを伝える。その際、理由の欄には、四つの視点について入力することを確認する。</p> <p>◇探究課題について、電力量と電気料金について関係性を踏まえて改善策を表現している。</p> <p>＜自己評価シート記述分析（思）〔記〕＞</p> <p>◇遠隔協働学習を通して、考えを再考したり、振り返ったりしている。</p> <p>＜自己評価シート記述分析（態）〔記〕＞</p> <p>◎授業終了後に、自己評価シートに教師からのフィードバックを入れるので、次時の学習に生かしてほしいことを伝える。</p> <p>◎遠隔会議システムを終了する。</p>
授業後	<p>5 振り返り②</p> <p>○自己評価について、教師からフィードバックを受け、次時の活動について考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次の時間は、相手に伝わるように発表してみよう。 <p>○次時の発表に向けて、用意した台本や資料の修正をしたりする。</p>	<p>◎自己評価シートの教師助言欄に、取組のよかった点や、改善すべき点、より上位の評価に向けて助言し、生徒が気付かなかった部分について考えることができるようにする。</p> <p>●自己評価シートの教師助言欄に記述した内容について詳しく伝えたり、疑問点を解消したりする。</p>

10 第17時の展開【遠隔合同発表】

(1) ねらい

前時までの学びを基に遠隔合同発表に臨み、発表したり他の班の発表を聴き質問したりすることを通して、探究課題について振り返ることができるようにする。

(2) 準備

教師：プロジェクタとスクリーン又は電子黒板、教師用タブレット端末 2組、
指向性マイク、広角レンズWebカメラ、三脚
生徒：教科書、ノート、1人1台端末、ワークシート

(3) 展開

時 間	○学習活動 ・予想される生徒の反応 [☆] : ICT活用	◎研究上の手立て ○指導上の留意点 ●努力を要する生徒への支援 ◇評価項目＜方法（観点）＞ [記] : 記録に残す評価
授 業 前	0 準備 [☆] Google Meet、 Google サイト	◎遠隔会議システムを準備する。教師用タブレット端末を用い、コンテンツ提示用と相手校提示用にそれぞれGoogle Meetを起動し、接続確認をしておく。 ◎全体への指示は、コンテンツ提示用の遠隔会議システムにポータルサイトの該当箇所を映して行う。
導 入 5 分	1 前時の振り返り ○各校の自己評価シートから取り上げられた、よい記述を共有する。 [☆] Google スプレッドシート ・前回の取組で、いろんな工夫をしている人がいることが分かったな。 ・発表が楽しみだな。 ○遠隔合同発表における「主体的に学習に取り組む態度」の自己評価の視点を再確認することで、学習をどのように進めていけばよいか見通しをもつ。 [☆] Google サイト ・今日も評価の視点を意識して、S評価を目指そう。	◎各校の自己評価シートの記述を取り上げ、前時の学ぶ態度のよかった部分を全体で共有し、本時の学習意欲が高まるようにする。 ○他の班の考えのよさに気付くこと、最後は自分の考えや取組について振り返ることが大切だということを押さえる。 ◎より上位の自己評価に向けて学習に取り組めるように自己評価の視点を意識させ、活動の見通しがもてるようにする。 ◎●TT教員は自校の困っている生徒や、接続不良等に適宜対応する。
展 開 30 分	2 遠隔合同発表 ○コンテンツ提示用端末を使い、決めておいた発表順で発表し、質疑応答をする。（7班×4分） [☆] Google Meet ・1班の改善策は、時間帯をそろえて省エネを実現しているのだな。 ・3班は、家電を最新のものにするといい改善策を提案して、その考え方はなかったな。 ・7班は、特にエアコンの使い方に絞って改善策を提案しているのだな。	○タイムマネジメントを意識し、時間で区切るようにする。 ◎発表は、コンテンツ提示用の遠隔会議システムを利用し、発表の様子は相手校提示用の遠隔会議システムを利用する。 ◎振り返りに向け、全ての班のスライドを共有（権限：閲覧者コメント可）にしておく。 ○発表する生徒は、1人1台端末でスライドの確認や発表原稿の確認をしてよいことを伝える。 ◎発表後、同じような考え方をしている班を取り上げ、よりよくする視点について質問を投げかけたり、生徒が気付いていない点について取り上げ、その視点について質問を投げかけたりして、探究課題をより深く考えられるようにする。

ま と め 5 分	<p>3 まとめ</p> <p>○本時の発表から、各班の探究課題に対する着眼点のよさ、聞く側の姿勢などについて聞く。</p> <p>〔☆〕Google Meet</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分にはなかった視点が沢山あって勉強になったな。 	<p>○本時の発表から、各班の探究課題に対する着眼点のよさ、聞く側の姿勢などについて取り上げ称賛する。</p> <p>◎探究課題について両校で考え、発表し合うことで、多様な考え方に触れられ、新しい気付きが生まれること、それまでの学びに向かう姿勢について具体的に取り上げる。</p>
振 り 返 り 10 分	<p>4 振り返り①</p> <p>○遠隔合同発表について自分の取組を、自己評価の視点を基に自己評価する。</p> <p>〔☆〕Google スプレッドシート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2班の考えを聞いて、自分の考えに追加したいところがあったな。また交流して勉強してみたいな。 ・相手校と一緒に活動して、自分がもっていなかった視点到気付いて、考えが広がったな。 ・学習したことが、身近なところで生かせることに気付いた。 ・探究課題について、事前に調べ、自分の考えをもっておくとよいことが分かった。 <p>○探究活動全体を振り返って、学んだことやできるようになったこと、新たな疑問、自分の課題を入力する。</p> <p>〔☆〕Google フォーム</p>	<p>◎自己評価シートに自己評価の視点を基に入力させる。</p> <p>●「主体的に学習に取り組む態度」の自己評価の視点を参考に入力することを伝える。その際、理由の欄には、四つの視点について入力することを確認する。</p> <p>◇探究課題について、電力量と電気料金について関係性を踏まえて改善策を表現している。 ＜自己評価シート記述分析（思）〔記〕＞</p> <p>◇遠隔合同発表を通して、考えを再考したり、振り返ったりしている。 ＜自己評価シート記述分析（態）〔記〕＞</p> <p>◎授業終了後に、自己評価シートに教師からのフィードバックを入れるので、今後の学習に生かしてほしいことを伝える。</p> <p>◎両校全ての班の発表スライドが見られるようになっていることを説明し、よかったスライドに対してコメントを残せることを伝える。</p> <p>◎探究活動全体を振り返って、学んだことやできるようになったこと、新たな疑問、自分の課題をGoogle フォームに入力させる。全員入力後、共有されるので、今後の学習の励みにしてほしいことを伝える。</p>
授 業 後	<p>5 振り返り②</p> <p>○自己評価について、教師からフィードバックを受ける。</p> <p>○探究活動全体を振り返って、両校の生徒がどのようなことを学んだのかを共有する。</p> <p>〔☆〕Google サイト</p>	<p>◎自己評価シートの教師助言欄に、取組のよかった点や、改善すべき点、上位の評価に向けて助言する。</p> <p>○Google フォームに全員入力確認後、その内容をGoogle スライドにまとめて発表する。</p> <p>●自己評価シートの教師助言欄に記述した内容について詳しく伝え、疑問点を解消する。</p>

時間	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
長男 10歳	睡眠							起床・朝食	自由時間	(子供部屋) 勉強			昼食	自由時間			(リビング) TV		夕食	入浴	(リビング) TV	睡眠		

Sさん家族の一日のタイムテーブル(夏休み)

時間	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
長女 14歳	自由時間	睡眠						起床・朝食	自由時間	部活動			昼食	昼寝		(子供部屋) 勉強		(リビング) TV	夕食	(リビング) TV	入浴	(子供部屋) 自由時間		

時間	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
母	睡眠							起床・朝食準備	朝食	片付け・洗濯	自由時間		昼食準備	昼食	片付け	(リビング) TV		夕食準備	夕食	片付け	入浴	(リビング) 自由時間	睡眠	

時間	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
父	睡眠							起床・朝食	仕事										夕食	入浴	(リビング) 自由時間	(リビング) TV	睡眠	

時間	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
祖母	睡眠					起床	散歩	朝食	(和室) TV				昼食	自由時間		昼寝	自由時間	散歩・入浴	夕食	(和室) TV		睡眠		

Sさん家族の一日のタイムテーブル（夏休み）【改善策】

時間	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
長男 10歳																								

時間	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
長女 14歳																								

時間	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
母																								

時間	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
父																								

時間	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
祖母																								

Sさん家族の家電製品と電力量
昨年度

改善策

場所	消費電力 (W)	時間帯	時間 (h)	電力量 (Wh)
エアコン リビング	1,000	9:00～21:00	12	12,000
エアコン 祖母寝室	800	21:00～5:00	8	6,400
エアコン 和室	800		6	4,800
エアコン 父母寝室	800	21:00～5:00	8	6,400
エアコン 子供部屋	800	21:00～5:00	8	6,400
テレビ 50型 リビング	210		7	1,470
テレビ 42型 和室	160		6	960
電子レンジ	1,500		1	1,500
炊飯器	1,300		1	1,300
電気ポット (保温)	30	9:00～21:00	12	360
洗濯機	300		1	300
ドライヤー	1,200	入浴後合計	1	600
冷蔵庫 450 L	500		24	12,000
照明 リビング	140		8	1,120
照明 ダイニング	100		4	400
照明 祖母寝室	80		0	0
照明 和室	80	19:00～21:00	2	160
照明 父母寝室	100		0	0
照明 子供部屋	100	21:00～1:00	4	400

※家電はすべて2010年製
※照明器具はすべて蛍光灯

1日の電力量56,570 Wh

電気料金	時間帯	1kWhあたり円
通常	7:00～23:00	30
深夜電力	23:00～7:00	15

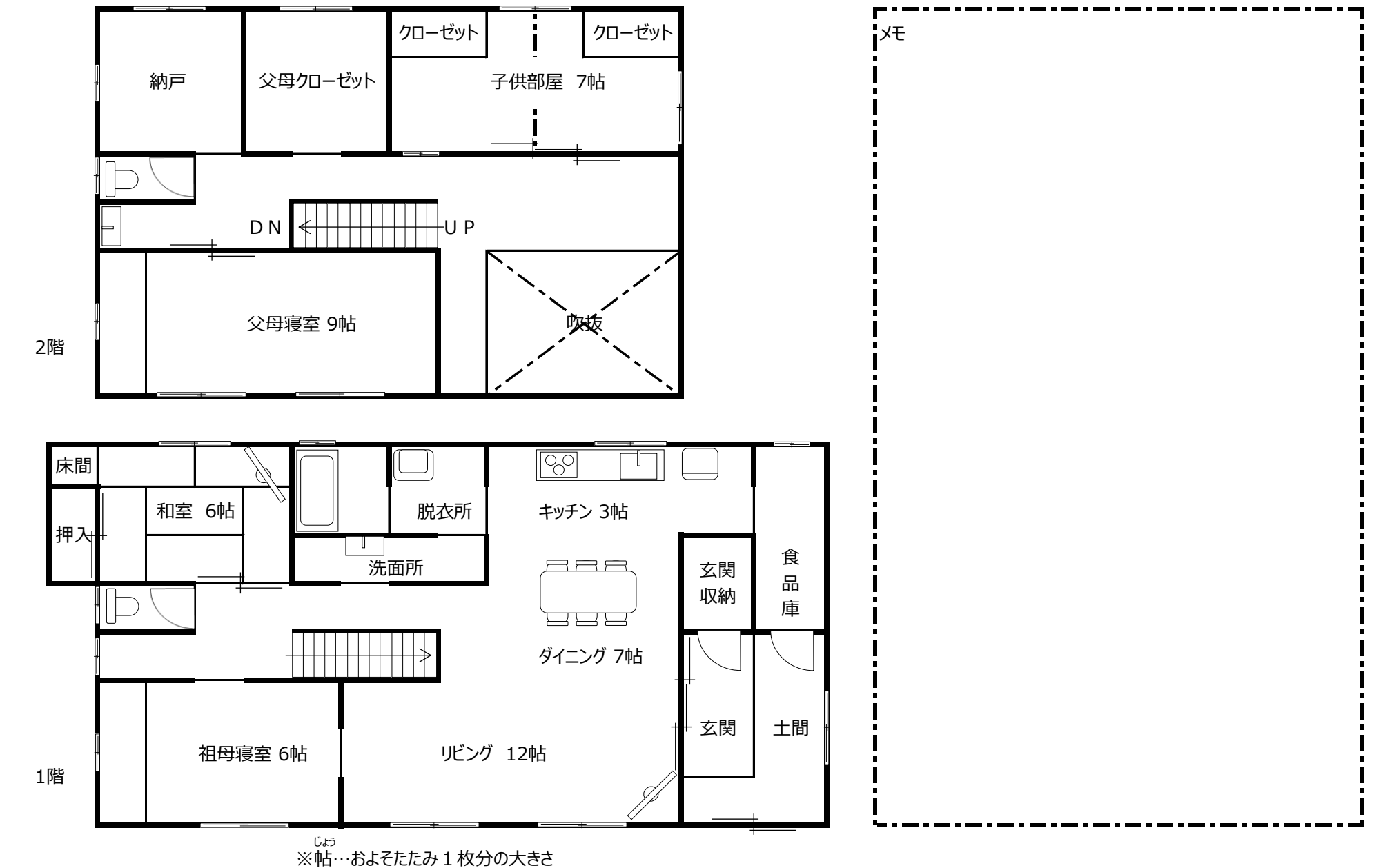
電気料金の求め方
昼間時間帯の例 7kWh × 30 = 210円
深夜時間帯の例 7kWh × 15 = 105円

場所	消費電力 (W)	時間帯	時間 (h)	電力量 (Wh)
エアコン リビング				0
エアコン 祖母寝室				0
エアコン 和室				0
エアコン 父母寝室				0
エアコン 子供部屋				0
テレビ 50型 リビング				0
テレビ 42型 和室				0
電子レンジ				0
炊飯器				0
電気ポット (保温)				0
洗濯機				0
ドライヤー				0
冷蔵庫 450 L				0
照明 リビング				0
照明 ダイニング				0
照明 祖母寝室				0
照明 和室				0
照明 父母寝室				0
照明 子供部屋				0

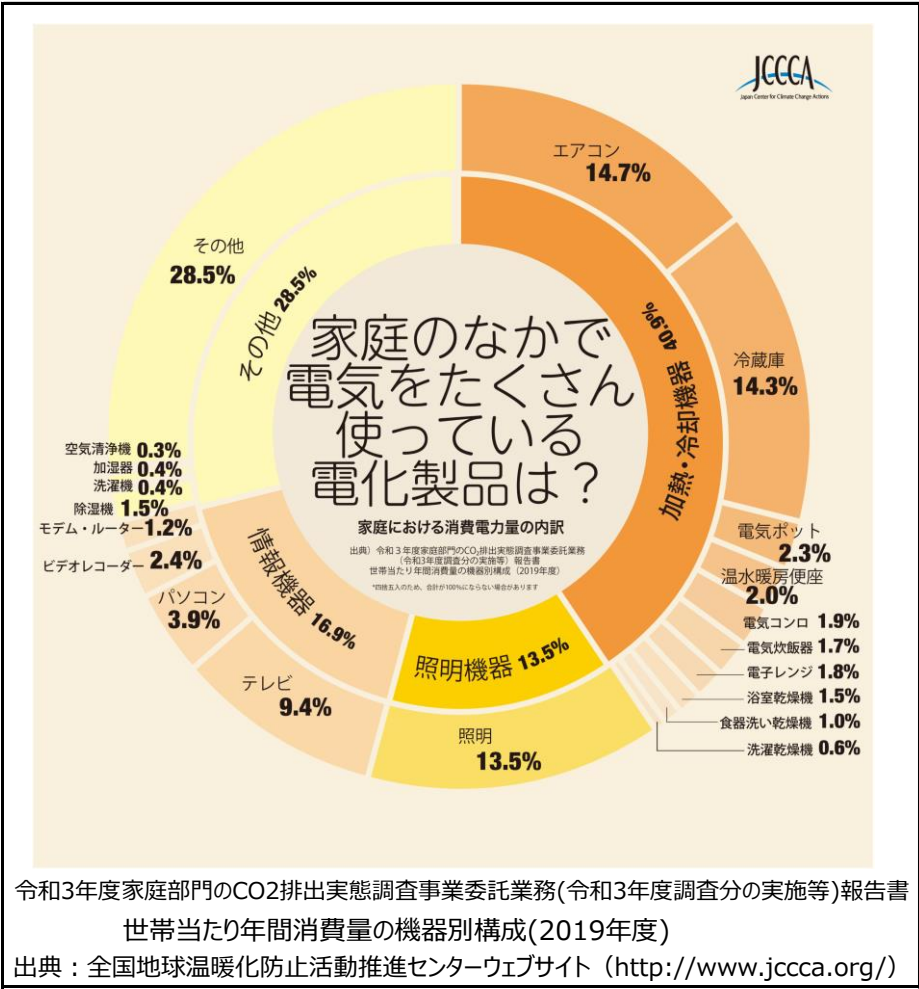
1日の電力量0 Wh

メモ

S邸 間取り図



メモ



メモ

参考リンク

①サイト名A

②サイト名B

③サイト名C

リンク、二次元コード

リンク、二次元コード

リンク、二次元コード

自己評価シート

あなたは生活アドバイザーをしています。今回の依頼は、2世帯（祖母、父親、母親、長女14歳、長男10歳）のSさん家族の方からの依頼です。「猛暑が続く夏休み中、消費電力の増加による家計の圧迫が心配です。どのように電化製品を使えばよいでしょうか。昨年より5%電気料金が下がれば、家計も助かります。」とのこと。生活アドバイザーとして、Sさん家族の昨年の電気料金、家族それぞれの生活スタイルや、使用している家電製品の消費電力、その他の資料を基に改善策を提案しましょう。なお、提案する際には図や表、理科用語を用いて説明しましょう。

年

組

番

事前個別学習 での学ぶ態度	自己 評価		理 由		
課題に対する 自分の考え					
遠隔協働学習 1回目 での学ぶ態度	自己 評価		理 由		
課題に対する 自分の考え					
遠隔協働学習 2回目 での学ぶ態度	自己 評価		理 由		
課題に対する 自分の考え					
遠隔合同発表 での学ぶ態度	自己 評価		理 由		
課題に対する 自分の考え					

あなたは生活アドバイザーをしています。今回の依頼は、2世帯（祖母、父親、母親、長女14歳、長男10歳）のSさん家族の方からの依頼です。「猛暑が続く夏休み中、消費電力の増加による家計の圧迫が心配です。どのように電化製品を使えばよいでしょうか。昨年より5%電気料金が下がれば、家計も助かります。」とのこと。生活アドバイザーとして、Sさん家族の昨年の電気料金、家族それぞれの生活スタイルや、使用している家電製品の消費電力、その他の資料を基に改善策を提案しましょう。なお、提案する際には図や表、理科用語を用いて説明しましょう。

自己評価シート記入例

評価の視点を意識して、
目指せ「主体的に学習に取り組む態度」
S評価！

主体的に学習に取り組む態度の自己評価

自己評価の視点	S	A	B	C
[事前学習] ①「すべての資料について目を通し、課題と向き合ったか」 ②「自分の力で考えをもてたか」 ③「習ったことを基に考え、課題の条件を満たしたか」 ④「考えを説明する文章や図、イラストを用意したか」	視点の①～③について記述し、④を用意した。	視点の①～③について記述した。	視点の①と②について記述した。	視点の①について記述した。
[遠隔協働学習] ○「話し合いでは、よりよい考え方を求めて深く考えようとしたか」 ○「複数の考え方が現れたとき、どの考え方が適切かを判断するようにしたか」 ○「今回学んだことに対して新たな疑問点を見付けるようにしているか」 ○「授業前と授業後で、自分の考えがどのように変わったかを考えることができたか」	4つの視点について記述した。	3つの視点について記述した。	2つの視点について記述した。	1つの視点について記述した。
[遠隔合同発表] ○「話を聴くときは、最後までしっかりと聴くようにしたか」 ○「複数の考え方が現れたとき、どの考え方が適切かを判断するようにしたか」 ○「今回学んだことに対して新たな疑問点を見付けるようにしているか」 ○「授業前と授業後で、自分の考えがどのように変わったかを考えることができたか」	4つの視点について記述した。	3つの視点について記述した。	2つの視点について記述した。	1つの視点について記述した。

視点について、自分はどう取り組んだか、についてタブレットで入力しよう！たくさん入力して、文字が入りきらなかったら文字サイズを小さくしよう！

事前学習での学ぶ態度	自己評価	S	理由 例) 資料が沢山あったがすべて目を通し、〇〇の改善策を考えられた。電力量をもとに課題の条件を満たす5%削減案ができた。他の人に説明する資料を用意できた。
課題に対する自分の考え			例) Sさん家族の~~~~について〇〇という改善策をとれば、5%削減することができる。

先生からの助言欄です。学習の参考にしよう！

自分が考える改善策についてタブレットで入力しよう！

遠隔協働学習 ○回目での学ぶ態度	自己評価	A	理由 例) 話し合いでは、相手の考えのよいところを参考に考えられた。最初は〇〇の改善策で良いと思っていたけれど、Tさんの◇◇の改善策の考えを聞いて、そちらの方が取り組みやすいと判断した。また、班での話し合いから△△の見方も大切だと考えるようになった。
課題に対する自分の考え			例) Sさん家族の~~~~について◇◇という改善策をとれば、6%削減することができる。

先生からの助言欄です。学習の参考にしよう！

話し合った内容を受けて、自分が考える改善策についてタブレットで入力しよう！前回から考えが変わったところは色を変えよう。

遠隔合同発表での学ぶ態度	自己評価	A	理由 例) どの班の発表もしっかりと聞くことができた。いろいろな改善策が出てきた中で、一番実現性のある改善策は何かを考えることができた。自分の家だったらどのくらい電力量を削減できるのか疑問に思った。
課題に対する自分の考え			例) Sさん家族の~~~~について◇◇という改善策をとれば、6%削減することができる。さらに□□の視点でも見直せばより削減することができる。

どの班の発表が一番印象に残りましたか？その発表を聴いて、自分の考えがどう変わったか変わらなかったのか書けるとさらにいいですね！

発表の内容を受けて、自分が考える改善策についてタブレットで入力しよう！前回から考えが変わったところは色を変えよう。